



Shaping a New Journey



2017年4月24日

南海電気鉄道株式会社

関西エアポート株式会社

桃園大眾捷運股份有限公司（桃園メトロ）

桃園國際機場股份有限公司（桃園國際空港）

日本・台湾の鉄道会社と空港運営会社が相互連携へ

～2017年4月24日（月）台湾・桃園市ノボテルホテルで4社連携協定式を開催～

南海電気鉄道株式会社（取締役社長兼 CEO：遠北 光彦、以下「南海電鉄」）、関西エアポート株式会社（代表取締役社長 CEO：山谷 佳之、以下「関西エアポート」）、台湾の桃園大眾捷運股份有限公司（董事長：劉 坤億、以下「桃園メトロ」）、台湾の桃園國際機場股份有限公司（總經理：蕭 登科、以下「桃園國際空港」）の4社は、日本と台湾における旅客の利便性向上と沿線エリアの認知度向上を図る共同サービス提供を視野に、連携する覚書を締結しました。

今回の様に、空港運営会社と市内を結ぶ鉄道会社が協力してサービスを提供するという取り組みは、日本初となります。

今後は、空港アクセスに関する情報発信や出発地から目的地までの鉄道乗車券類の相互販売などの実現に向けた協議を進めるほか、それぞれの空港から市内への鉄道沿線の観光地の魅力を伝える等、日本・台湾間のさらなる旅客数増加に繋げられるよう努めてまいります。



1. 目的 関西国際空港、台湾桃園国際空港を利用する相互の旅客を対象に、空港アクセスを担う鉄道会社（南海電鉄・桃園メトロ）と空港（関西国際空港・台北桃園国際空港）が共同で様々なサービスを提供するとともに、両空港並びに鉄道アクセスの沿線の観光地などのプロモーションを共同で行うことによって、利用旅客に対するサービスの向上と日台間のさらなる交流人口の拡大を図ることを目的としています。

2. 施策（案）

- (1) 4社のツールを活用した告知や共同プロモーション
- (2) 共同企画切符などの検討
- (3) 両空港周辺、アクセス鉄道である南海電鉄・桃園メトロ双方の沿線にある観光地を活用した交流 など

※今後協議し、具体的な取組み施策は、決定次第お知らせいたします。

3. 締結式

- (1) 会場：台湾 桃園市ノボテルホテル（桃園空港近接）
- (2) 出席者：南海電気鉄道株式会社 取締役社長兼 CEO 遠北 光彦
関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO 山谷 佳之
桃園大眾捷運股份有限公司 董事長 劉 坤億
桃園國際機場股份有限公司 總經理 蕭 登科
- (3) 立会人：大阪観光局 理事長 溝畑 宏
桃園市市長 鄭 文燦

【参 考】

○南海電鉄について

1885年（明治18年）12月に、日本最初の純民間資本により創業した阪堺鉄道を前身にした鉄道会社。大阪・難波を起点に、関西空港・和歌山市・高野山を結んでおり、営業キロ程は154.8km。

○関西エアポート株式会社について

関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立された。関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としている。

○桃園メトロについて

桃園国際空港を経由して、台北市街と桃園市を結ぶ鉄道で2017年3月に開業。全長は51.03kmで、台北市内および空港駅周辺は地下線、その他の区間はほぼ全線が高架。

○桃園国際空港について

1979年（昭和54年）2月に開港した、桃園市に位置する台湾最大の国際空港。